



# 病床確保フェーズ・レベルの 引き下げについて

健康医療局 医療危機対策本部室  
令和4年6月13日

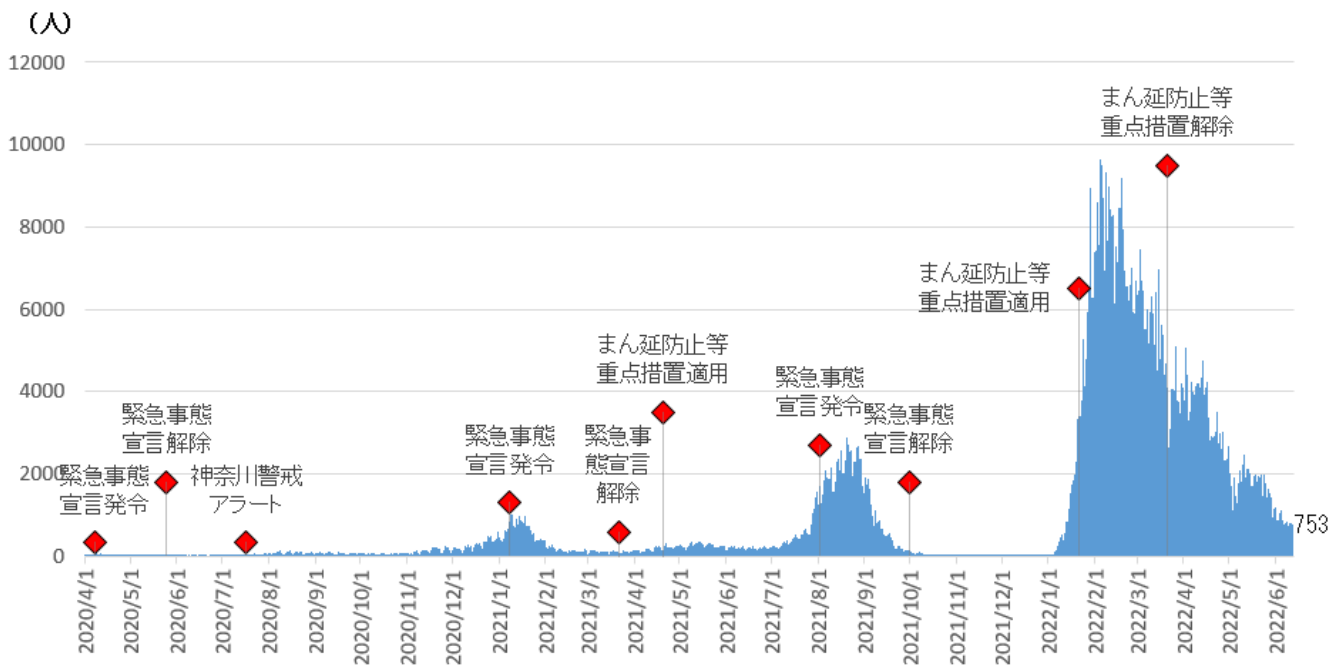
## 「病床確保フェーズ」の引き下げ

- 入院者の減少傾向が継続していることを踏まえ、**病床確保フェーズを「1」に引き下げる。**  
(確保病床 1,300床 → 1,000床)
- 6月6日の神奈川モデル認定医療機関会議でフェーズの引き下げについて意見交換したところ、引き下げに賛成の意見が多数、反対意見ゼロ。

## 「レベル」の引き下げ

- 病床確保フェーズの引き下げに伴い、**レベルを「1」に引き下げる。**  
(レベル2 警戒を強化すべきレベル → レベル1 維持すべきレベル)

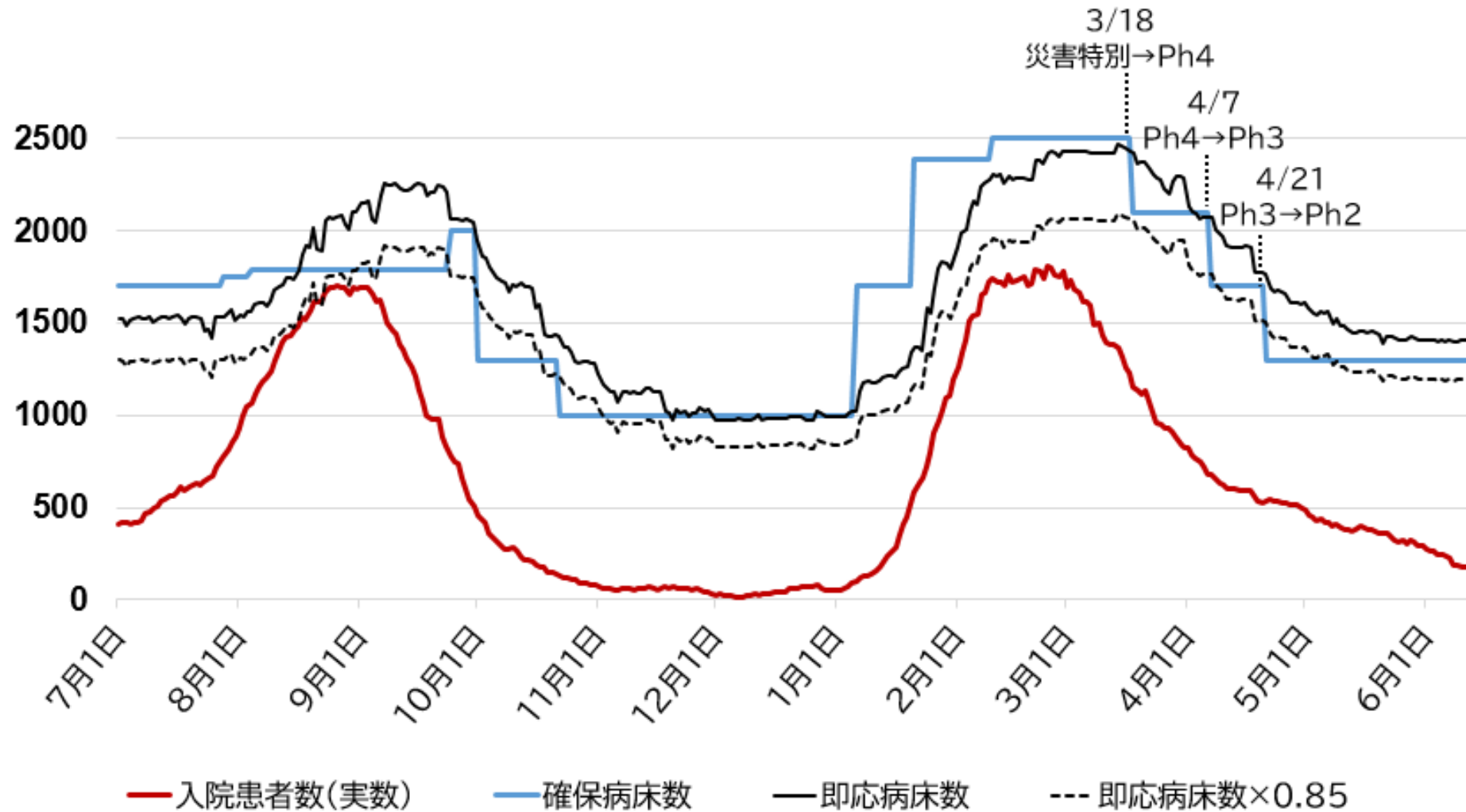
# 新規感染者（新規自主療養届発行者数を含む）の推移（実数・日別）



2022年6月13日 現在 ※新規自主療養届発行者数を含む

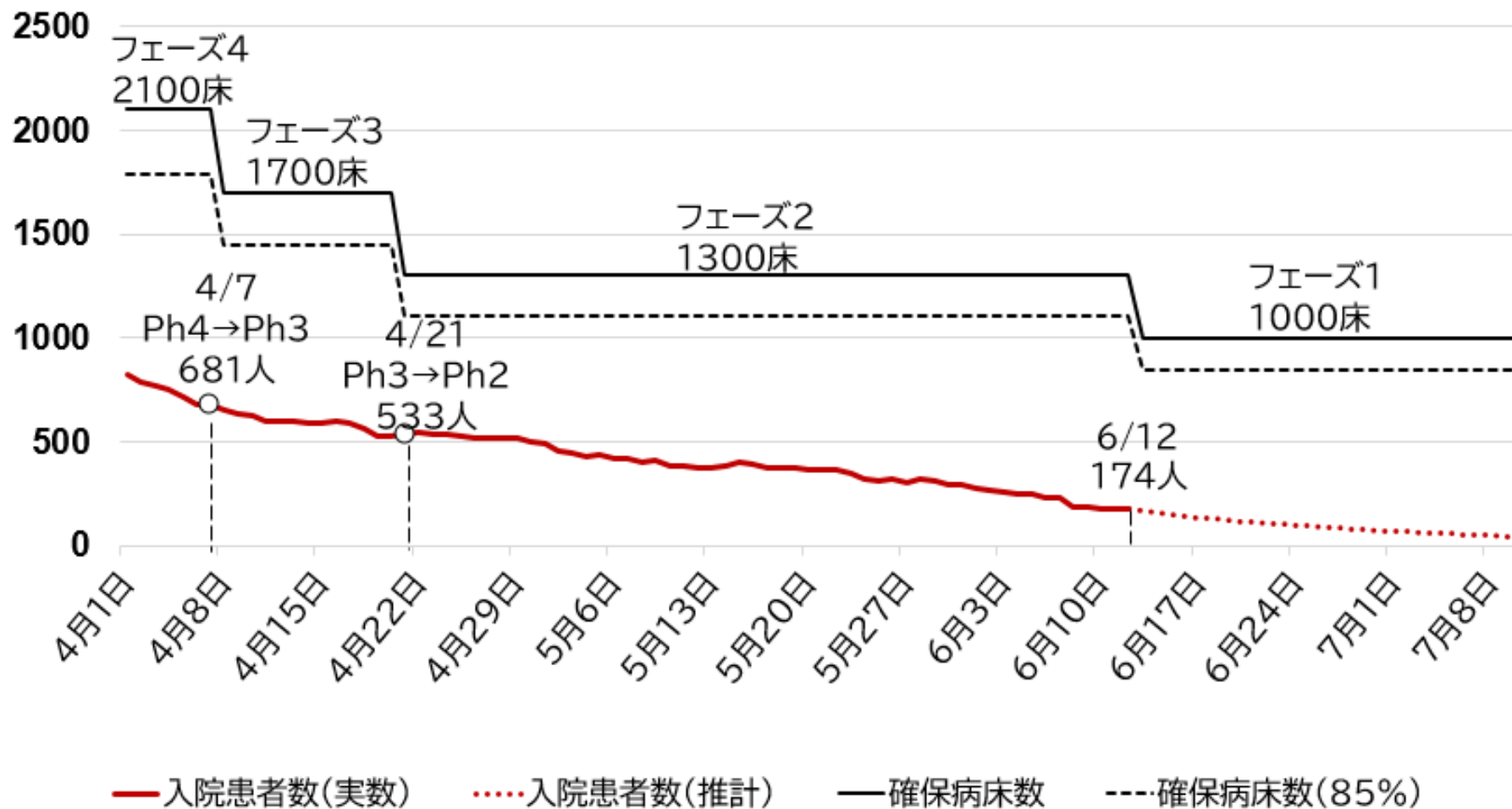
	日	月	火	水	木	金	土	
4月	17	18	19	20	21	22	23	週合計
	3378人 2817人 2914人 2875人 2904人 3026人 3493人							21407人
	24	25	26	27	28	29	30	週合計
2731人 2968人 2588人 3022人 2336人 2377人 2667人							18689人	
5月	5/1	2	3	4	5	6	7	週合計
	2026人 1701人 1101人 1910人 1448人 1274人 1776人							11236人
	8	9	10	11	12	13	14	週合計
2072人 1821人 2226人 2476人 1911人 2129人 2122人							14757人	
15 16 17 18 19 20 21							週合計	
2013人 1700人 1962人 1987人 1798人 1934人 1905人							13299人	
22 23 24 25 26 27 28							週合計	
1977人 1474人 1994人 1775人 1411人 1632人 1512人							11775人	
29 30 31 6/1 2 3 4							週合計	
1410人 940人 1156人 1183人 860人 1059人 1118人							7726人	
6月	5	6	7	8	9	10	11	週合計
	875人 772人 794人 851人 728人 811人 797人							5628人
	12	13	14	15	16	17	18	
753人								
※新規感染者数（新規自主療養届発行者数を含む）								

# 病床と入院者数の推移



(確保病床はその時点における病床確保フェーズの確保病床)

# 入院者数のシミュレーション



**病床確保フェーズ（フェーズ2→フェーズ1）への引き下げ**

# (参考)新たなレベル分類と病床確保フェーズとの関係整理表

レベル(L)		状況	病床確保フェーズ(Ph) ※1	レベルアップ基準(案) ※2	レベルダウン基準(案) ※2	具体的対策 ※3
L4	避けたいレベル	一般医療を大きく制限しても、新型コロナへの医療に対応できない。		【L3→L4】 災害特別フェーズでの対応も困難になったとき	—	
L3	対策を強化すべきレベル	一般医療を相当程度制限しなければ新型コロナへの医療対応ができず、医療が必要な人への適切な対応ができなくなる。	「災害特別フェーズ」 最大確保病床2100床+400床 うち重症210床+60床	【L2→L3】 Ph4に引き上げ	【L4→L3】 ①現在の入院者数がピークアウト傾向 ②救急搬送困難事例数が減少傾向	【医療提供体制】 ○一般医療の延期(通知による) ○入院基準をSpO2基準に変更 ○緊急酸素投与センター稼働 ○早期処方指針 ステロイド処方段階
			Ph 4 最大確保病床 2100床 うち重症210床			【社会への要請】 ○ワクチン検査パッケージ停止
L2	警戒を強化すべきレベル	一般医療・新型コロナへの医療への負荷が生じているが、病床拡大により医療が必要な患者への医療提供ができています。	Ph 2/3 確保病床1300~1700床 うち重症130~160床	【L1→L2】 Ph2に引き上げ	【L3→L2】 Ph3に引き下げ	【社会への要請】 ○まん延防止等重点措置[Ph3]
L1	維持すべきレベル	一般医療が確保され、新型コロナ医療にも対応可能。	Ph 1 確保病床1000床 うち重症100床	【L0→L1】 Ph1に引き上げ	【L2→L1】 Ph1に引き下げ	
L0	感染者ゼロレベル	新規陽性者ゼロを維持できている。	Ph 0 確保病床120床 うち重症20床		【L1→L0】 Ph0に引き下げ	

※1 病床確保フェーズの引き上げの考え方:入院患者数の増加傾向が継続し、各フェーズの確保病床の85%を超えることが想定される3週間前に上のフェーズに引き上げる。

病床確保フェーズの引き下げの考え方:入院患者数の減少傾向が継続し、仮に再上昇しても3週間の猶予があると想定される場合に下のフェーズに引き下げる。

※2 レベルアップ基準、レベルダウン基準については、上記表記載の基準を原則とするが、その他の要素を含めて総合的に考慮し、決定することとする。

※3 個々の具体的対策を講じる時期については、変異株の特性、新規発生患者・入院者数の状況等を総合的に考慮し、柔軟に対応することとする。